

## 第1回宇陀市男女共同参画審議会 会議録概要

- 日 時：令和3年3月16日（火）14時00分～15時30分
- 場 所：宇陀市役所 312会議室
- 出席者：上明代委員・鍛冶本委員・中井委員・松石委員・松塚委員  
丸岡委員・南浦委員  
【計7名出席】
- 配布資料：
  - ・会議次第
  - ・委員名簿
  - ・宇陀市男女共同参画計画（第2次）進捗状況
  - ・宇陀市男女共同参画計画（第2次）及び概要版
  - ・宇陀市男女共同参画推進条例
  - ・SDGs
  - ・ジェンダー・ギャップ指数ランキング
  - ・奈良県 推進体制等
  - ・奈良県 審議会委員への女性の登用
  - ・奈良県 女性公務員の登用

### 1. 開会

市長挨拶

### 2. 委嘱状交付・委員紹介

各委員自己紹介

### 3. 宇陀市男女共同参画審議会について

事務局説明

### 4. 会長及び副会長選出

会長・副会長選出

## 【協議事項】

### 1. 宇陀市の現状について

#### 事務局説明

(会 長) 過去2年間の第2次宇陀市男女共同参画計画の評価。評価は大体、達成率60%~80%の間を推移していると思う。質問があればどうぞ。

(委 員) 誰に質問するの？

(会 長) 事務局に。

(事務局) この評価の基は、平成30年から第2次男女共同参画計画がスタートし、平成30年度、令和元年度の各課の年度評価である。色々と忌憚のない意見をお願いしたい。

(委 員) どの課に依頼をかけたのか？例えば、基本目標4はあまり達成できていない、達成できていないが0というのが気になる。回答する課が少なかったということだろうが、そこで止まっている状況なのか、課題を見つけられていないのか、そこが気になる。0の中身は調査しなかった、回答はなかったということか。

(事務局) 回答はいただいている。ただ取り組んでいるが実を結んでいない状況。

(委 員) 取り組んでいるが、生み出せないような状況なんですね。

(事務局) 育児教室ひとつとっても、父親が参加しやすいようにしているが、なかなか参加してもらえないような状況。できていないという回答ではあっても取り組みはしている。それがうまく実を結んでいない。

(委 員) 回答の課はあった。では0ではないんですね。

(事務局) 0ではない。説明不足でした。例えば、計画書の27ページに具体的事業がありこれを担当課に依頼している。担当課からの回答が達成できたということであれば、必然的に達成できなかったは0という

ことになる。数字が合わないのは、依頼している課と回答があった課がイコールではないため。例えば、教育総務課なら依頼課は教育総務課一つだが、回答は教育総務課プラス教育総務課部門、例えば幼稚園関係など複数になる。ご了承いただきたい。

(事務局) 評価に達成できた、おおむね達成できた、あまり達成できていない、達成できていないに点数をつける。満点は5。達成できたら5点、おおむね達成できたは4点、あまり達成できていないは3点、達成できていないは2点、何かを取り組んでいる事実があるので、1点とか0点はない。65%から80%くらいで、平均をとると大体75%になる。それが現状であると思っていいただきたい。

(委員) どういうふうに計算しているのか？

(事務局) 事業数がすべてで109。担当の課が延べ215。一つの施策に3つ4つの課もある。実際215も課があるわけではないが、トータルとして215。それに5をかけると満点の点数1075になる。先ほど5点、4点と申し上げたが、その積算で807、これで数字が出てくることになる。

(委員) 満点に対しての達成率という事なんですね。しかし課で達成しているのと、一般市民に行き渡っているのかは別問題。アンケートを取って市民に対してどの部分をどのように意識されているのかを調査することも必要だと思う。

(会長) 今後の方向性ということで、アンケートを取ったらどうかという話になっているが、この報告に対して他に質問等があればお願いしたい。

(委員) この評価は近隣の市町村で同じやり方をするのではなく、宇陀市オリジナルなのか？

(事務局) 宇陀市男女共同参画計画に則って評価しているので、オリジナルになる。

(事務局) どの業者で行ってもデジタル化していくとなれば何かの点数を出す。元

に5なり4なりかけていく。評価のやり方も、現時点ではそんなところまでシステマティックには至っていない。

(会 長) よろしいでしょうか？

(委 員) はい。

(会 長) 事務局で非常に苦勞して計算していることがよく分かる。ただ、課題が見えにくいという気がする。女性の参画について少ないのではないかという意見もあったが、男女共同参画推進の審議会なので、そういう視点に光を当てて話し合いも必要ではないかと思う。現状についてはどうか？なければ、今後の方向性について、事務局から説明をお願いします。

## 2. 今後の方向性について

(事務局) 男女共同参画は、少子高齢化が進む中において、性別に関係なく、誰もが様々なことにチャレンジでき、個性や能力を発揮することができる、人権とまちづくりの両方の施策であり、宇陀市の発展のための重要な施策であると考えている。女性という理由で、色々なことを諦めたり、せつかくの能力を発揮できないまま一生を終えてしまうのは、あまりにも勿体ないと思う。誰にでも色々な能力があると思うし、それを社会に還元してこそ、人も社会も潤い、そのような社会を構築することが必要であると考えている。これは行政だけで進めていくものではなく、まち全体で進めていかなければいけない。そのために行政だけでは気づかないことなど、何が課題なのか、どうすれば進めていくことができるかということ、委員の皆様方より多方面からご意見をいただき、できるところから取り入れて、一歩ずつでも進めていきたいと考えている。何かご意見があればお願いしたい。

(会 長) 男女共同参画が非常に大事であり、それを進めていくのに、どのようにすればいいか具体的な話をお願いしたいということだと思う。先ほど一つ意見が出たが、市民の方がどのように考えているのか、我々も見えないところがある。そういう意味ではアンケートを取ることも必要かと思う。男女共同参画を含め、他の人権課題も含めたアンケートをとることも必要かと思う。他に意見はないか？

(委 員) 会長が挨拶で言われたように、各大字の代表は男性が本当に多い。女性が出てくるのは、夫が亡くなった、今家に住んでいない等、田舎の方ではそれ以外は許されないという風土がある。女性がすると言うと、「そんなカッコ悪いこと言うな」と夫から言われることもある。実際役員等の面でも、男女がいると男性が優先である。急には難しいが、まず女性を半分にする。また女性の方も嫌がる現状がある。その意識をどのように変えていくかが大切だと思った。

(会 長) 根っこの部分に関わるようなご意見だった。確かに男性が動き回り、その中に少し女性がお手伝いしている感じの自治会が多いと思う。その辺をどのように変えていくのか大変難しい問題だと思う。他に意見はないか？

(委 員) 今の問題は難しいと思う。この前、地区の自治会の役員を選んだが、大体男性が多い。家という形で選ぶのであれば妻が出るが、個人名、男性名で選ばれるので、自分が出ていくことになる。選び方にも問題がある。また、女性も引っ込み思案で、代わりに行ってということがある。私が住んでいるところは神社の役があるが、それは妻が全部行っている。色々な役職の分担が必要だと思う。この世は男性と女性しかいないのだから、両方で分担し合ったらいいと思う。女性ばかり出てくるのもおかしいし、男性ばかり出てくるのもおかしい。こういうことは男性、こういうことは女性、一緒にできることは一緒にしましょうという形をとれたらいいと思う。会合の時でも、女性が何人かいないとできないこともあったから、その辺のこともこれから改めていかないといけない。洗い物や料理とか、そんなことも女性がするというのではなく、分担すればいいと思う。ウチの家では分担している。私なんか料理もできるし、妻より上手いかもしれない。

(会 長) これからの時代は分担だと。家の中で作業分担、家事も分担していくことが大事だという意見をいただいた。違うことでも結構なので、他に意見はないか？

(委 員) すいません、何度も。

(会 長) はい。

(委員) 何点か教えてほしいことがある。課として研修、市民に対しても含めてだが、内外共に研修の機会をどう設けていくか。特に、この男女共同参画に関わっての、例えばジェンダーの研修であったり、DVの研修であったり、先ほど申しましたLGBTQの研修であったりをどういうふうに啓蒙啓発していくのか。そういうことが先ほどの女性の進出であったり、自治会というあたりに繋がると思う。予算のこともあるだろうし、アンケートもそうだと思うが、そういったことを提案していくことがこの審議会であるというなら、そういうことの予算化も必要だと思う。特に、奈良県は女性の就業率も全国で最下位なので、特に今出ている意見がもっとももっと出てくると、そのような課題が解決すると、考えていることがあればお聞かせ願いたい。一番思うことは、せっかく皆さん宇陀市で頑張っている。特に宇陀市手話言語条例もできたし、今、この男女共同参画推進条例もできたし、宇陀市障害者コミュニケーション条例もできている。そんな中この審議会委員15名枠ですよね。現在委員数が12名なので残り3名の枠があるのであれば、委員の中に当事者がいてもいいと思うが、そのような計画があるのか教えていただきたい。

(事務局) 会長いいですか？

(会長) どうぞ。

(事務局) これは行政に対してお尋ねいただいている内容だと思う。行政の方でそういった課の研修があるのか、まずそれをすることで市全体が変わってくるのではないかと、そこからどうなっていくのかというお問合せだと思う。課単位での研修というのは中々難しい。ただ、人権啓発活動推進本部というのがどこの市町村にもあり、すべてのトップは首長。市長が本部長で、各部次長がいて課長がいてというふうな、とりあえず全員で色々な啓発事業に取り掛かりましょうと、その中で各部会に別れているが、その中の一つに研修部会というのがある。研修部会で職員研修を行っているが、色々な種類の研修がある。ジェンダーのこと、LGBTQのこと、障がいのある人に対する差別のこと、部落差別のこと等、毎月色々な差別問題についての研修が県内であり、ほぼ毎月職員を数名順番に派遣している。全国規模の研修にも参加してもらおう機会はあるが、こまごまとした研修をまめにするというのは難しい。ただ、人権啓発活動推進本部としてまんべんなく

色々な人に参加してもらおうような体制を作って、そういうことをしているのを全ての職員に分かってもらえるような仕組みを今ずっと続けている。意欲的な人が増えてきていて、レポートもしっかり書いているし、色々と提案してくれたりという意味では大分変ってきたというイメージがある。委員の残り3名を当事者にとのお話をいただいた。3名は簡単に言うと残してある。市長が必要とする人であったり、審議会委員の皆さんが必要だという人が出てきたときの余白だと思っていただければ。

(委員) その件についてですが、今12名おられる。梅田直美さんというのは男性か女性か？

(事務局) 女性の方。

(委員) 女性の方ということになれば、男性6名女性6名になっているわけですね。男性の皆さん全員出席であるが、女性の方今日たまたま5名欠席だと。男女共同参画の会議なので女性の方が何人出席か知っておかないと。出席委員が女性一人だと、その人の意見だけになってしまう。大学の教授とか講師の方とかおられますが、そういう方もいいですけど、市内の方でもいいと思う。本日欠席の人も来られるような状況にして、会議をしていただく方がいいと思う。今日は、ソーシャルディスタンスで空けるためにこうしたのかどうか知りませんが、できるだけ出席していただいて、色々な女性の意見を聞かせていただきたい。

(会長) 2人の委員から貴重な意見をいただいた。今後入団する選手枠を空けてあるという話だと思うが、どんな方が入団するのか検討の余地もあると思う。他にどうか？

(委員) 男女共同参画審議会ということで、任期は2年ということで聞いているが、これは中々解決できる問題ではないと思うが、この会はエンドレスに行くという認識でいいのかというのがまず1点と、人権推進課の人が旗振りですべていただいているが、全庁に及ぶ問題なので、とりまとめは難しいということもあるので、この審議会として何か成果物を出していかなければいけないというところはどうかと思うが。

(事務局) おっしゃるようにエンドレスになる。成果物ということだが、この審議会ですべていただくのは、条例にあるジェンダーの平等、誰もが選択肢が大きくなる、そしてそれが当たり前になる社会にするために、市長に建議をしていただく。逆に市長から問合せがあったら、皆さんで考えていただくとか、そういう場面になると思う。それともう一つ男女共同参画計画の評価についてご意見をいただきたい。

(会長) ありがとうございます。他にありましたらどうぞ。

(委員) トンチンカンな発言になってしまうかもしれないが、常々思っていたのは、キャッチーなメッセージの方が一般市民の方に届きやすい、分かりやすいと思う。行政の皆さんって、データをきっちりしていただいて有難く思うが、情報発信が下手だと思う時がある。例えば今回の会議、宇陀市の男女共同参画審議会、男女なにがし、非常に重苦しいというか、真面目すぎるのかと思ったりする。他の自治体では男女共同参画計画などではなく、もう少し敷居を下げてやわらかい名称をつけようとか工夫されている。宇陀市も次回の会議までに、みんなでキャッチーな名称を持ち寄って何かしたいなど。私も今日のために作ってきたが、今日は緊張して出すのが恥ずかしいので出さないが、次にみんなで出し合って、一般の方に知ってもらえるような参画プラン何々というのを持ち寄って見たらどうかと思う。

(会長) ありがとうございます。役所の関係の書類などはそんなふうになる場合が多い。もっととっつきやすい名称があればいいと思う。他にどうか。

(委員) どこに焦点を当てて話をすればいいのか、まだピンときていない。この中でも、何をテーマに、大きなテーマとして進めていくのか実際まだピンときていないが、これから積み上げていく会議の中で、色々なテーマが出てくると思うが、そんな中で男女共同参画に当たり、現状を考えてそれをテーマにして話をしていくのか、あるいは今後起こりうることを想定して話をしていくのか、というようなところも今後は出していただき、話し合いができたというふうに思っている。先ほど誰でも参加できるっていう話や、選択肢があるというような話があった中で一つ思い出したことがある。前任校の中学校での話

だが、中学校なので卒業すると進路が出てくる。そんな中、自分の性に疑問を持っている女の子がいて、その子が進路を選択するにあたり、ほとんどの高校に制服があり制服を着るわけだが、ほとんどの学校が女の子はスカートをはくと。その子自身は自分の性に疑問を持っていたので、中学生の時はずっと制服のスカートをはいて来ていたが、自分が選択する高校に行くにあたり、どうしてもスカートをはくのが嫌だという考えもあり、何とかならないかということで、当該の高校に問い合わせたということがあった。もしかしたら、今宇陀市にはそういう疑問を持っている子はいないかもわからないが、将来的にはまたそんな子どもが出てきて、そんなことで悩まないといけない子どもがいるかもしれない。そんなことも想定しながらの会議であってほしいと思う。

(会 長) L G B T Q、男女の多様化、もう形態、形だけでは姿がつくか分からないような世の中になっていると思う。そのことも想定しながら男女共同参画計画づくりをしたと思うが、その辺りの課題も見えていかなければいけないと今つくづく思った。皆さん方色々ご意見出させていただいて、良い会だと思いながら進めているが、あまり長くなるのも大変なので、他にご意見がなければ簡単にまとめたいと思う。5点ばかり意見が出ていた。一つ目は市民にアンケートをとる。これはこの部会で内容を検討したらいいのかどうか分からないが、そういう方向性も大事かなと思う。我々委員だけでは分からない部分が多いので、他の方がどんなふう考えているのか知ることも大事かなと思う。二つ目は自治会の役員ですが、これは非常に難しい問題。約半数が女性であればどの会でも運営しやすいと思う。中々男性社会であって難しいが、その辺のことをどのようにしていくのかということが、もう前からの課題だったと思う。自治会の方にどこかから、また役所の方から話ができればと思ったりする。三つ目ですが、現在委員数が15名のうち12名。あと3名を当事者の方、例えばL G B T Qに関係あるとか、障がいがある方とか色々な方がいらっしゃるが、そういう方にも参加していただけたらと思う。実は、男女共同参画計画策定委員会でも、委員の中に障がいがある方に参加してもらったらどうかという意見もあったように思ので、また検討をお願いしたいと思う。四つ目は男女共同という硬い名前ではなくやわらかい名称にしたらどうかという意見が出ている。これは次回持ち寄って話し合ってもいいかと思う。それから、今後起こりうる課題や現状です

ね、LGBTQを例にあげて話していただいたが、そういうようなことを考えていくことも大事かなと思う。次回そういう内容を盛り込んで話を進めたらどうかと思う。ちょうど1時間半くらいになったので役目を終えたいと思う。どうもありがとうございました。

(事務局) ジェンダー平等、これが男女共同参画のテーマ。今後皆さんに何回もお集りいただく機会をつくろうと思っているので、お力をお貸しいただきたい。本日はありがとうございました。